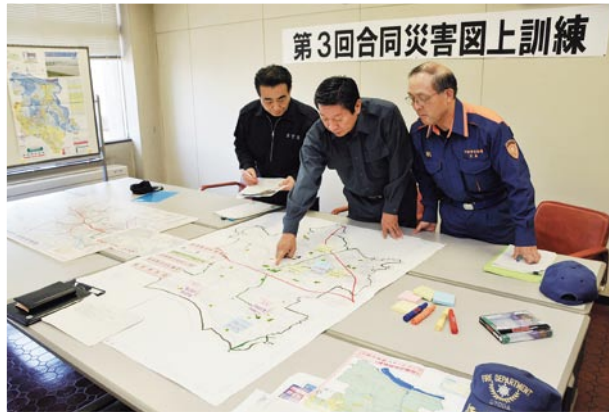


# Cyoda City Photo Studio 写真館



## 合同訓練で危機管理体制を強化

5月27日、市、市消防本部および行田警察署の合同災害図上訓練が市役所会議室で行われました。この訓練では、市内で震度6弱の地震が観測されたことを想定し、被害状況の収集・確認や避難誘導、災害時要援護者の避難支援など、迅速かつ的確な災害対策を各機関が実践しながらに行いました。情報の共有による連携した災害対策訓練により、危機管理体制の強化を図りました。

## ゴールへまっしぐら

5月22日、総合公園自由広場で第21回行田市一輪車競技大会が開催されました。

50m競走、100m競走、30mスラローム競走の3競技が行われた今大会には、市内の小学1年生から6年生までの114人が参加。選手たちは、家族らの声援を受けながら、ゴールを目指してまっしぐらに走り、タイムを競い合いました。



## 市の花・菊の配布に長い列

6月1日、郷土博物館入り口で菊苗の無料配布が行われました。

これは、行田市菊花連絡協議会の会員が育てた菊苗を配布し、行田市の花である菊の普及とPRを目的に毎年行っているものです。当日は、配布開始前から長い列が作られ、用意された約3,000本の菊苗は20分ほどで配り終えてしまいました。

## 南極の氷に興味津々

5月21日、南極の雰囲気味わってほしいと、埼玉中学校に自衛隊埼玉地方協力本部から南極の氷が贈呈されました。

同校に届けられた氷は、5カ月にわたる南極大陸での任務を終えた海上自衛隊砕氷艦「しらせ」が持ち帰ったもの。数万年前に降った雪が固まった氷は水に漬けると気泡が「パチパチ」とはじけ、心地良い響きが聞こえるとの説明を受けた生徒らは、約14,000キロメートルも離れた世界からやって来た氷に興味津々な表情を浮かべていました。

